



中部地方の技術 医療機器に活用

「中部地方には高い技術力を持った企業がたくさんある。その力を医療分野に振り向けてもらえば、素晴らしい医療機器をきつと生み出せる」と話すのは、メディカル・デバイス産業振興協議会(名古屋市)理事・幹事長の筒井宣政さん(76)＝東海メディカルプロダクツ会長。

ものづくり企業と医療現場との出合いの場になる展示商談会「メディカルメッセ」を六、七両日に名古屋市千種区の吹上ホールで開く。医療現場のニーズを企業側が把握することで、医療機器の開発や改良につながるよう、二〇一五年にスタートした。

メッセへの参加者は年々増加。「高齢化が進む日本では、医療は成長が期待できる分野。多くの企業に参画してもらい、中部を医療の技術集積地にしていきたい」と期待を込める。